

令和6年6月27日
国立大学法人筑波大学

報道関係者 各位

附属大塚特別支援学校において「ガレージカフェ・プロジェクト」が進行中(第2報)

本学附属大塚特別支援学校において、株式会社三和製作所様にご協力いただき、倉庫を改修しカフェスペースにリノベーションする「ガレージカフェ・プロジェクト」を進行しています。

高等部の生徒が行う作業学習「えがおカフェ(製菓品販売・カフェサービス提供)」などの教育活動を展開しながらのプロジェクトです。

5月8日(水)よりプレオープンとして、毎週水曜日、13:30から14:30までの1時間、本校保護者の皆様や学校関係者をお客様としてお迎えしています。

プレオープンを通して、生徒たちは製菓や販売に加えて、ハンドドリップでコーヒーを淹れて提供できるよう、プロの技に学びつつ練習中です。

6月からは、本校卒業生2名がスタッフとして加わり、接客、製菓、清掃などの業務を習得しながら、グランドオープンに向けて準備を進めています。

「ガレージカフェ・プロジェクト」の今後の展開にどうぞご期待ください。



【附属大塚特別支援学校「えがおカフェ」について】

附属大塚特別支援学校は、知的障害のある子どもたちが通う学校です。幼稚部・小学部・中学部・高等部を設置しています。一人ひとりの教育的ニーズに基づいた指導・支援を行うこと、自立と社会参加に必要な資質・能力を培う指導・支援を行うことを学校教育目標に掲げています。(学校所在地:東京都文京区春日1-5-5)

「えがおカフェ」は、本校高等部の職業の学習のひとつとして、お菓子のレシピ開発や販売に取り組んできました。高等部生徒一人ひとりが、ひとつのお菓子を担当し、用具の準備、焼成、商品化までの工程を心を込めて行っています。厳選された国産の材料を用い、添加物は一切使用せず、工程にもひと工夫を加えたお菓子は、食品加工の専門家からも高い評価を得ています。

お菓子の材料には附属坂戸高等学校の赤卵を使用し、ポスター作成には附属聴覚特別支援学校専攻科造形芸術科が協力するなど、本学附属学校が連携する取組でもあります。

【「ガレージカフェ・プロジェクト」について】

「えがおカフェ」の意義にご賛同くださった医療機器・防災防犯用品・教材教具の製造販売の老舗である株式会社三和製作所様(東京都江戸川区:代表取締役 小林 広樹 氏)からご支援をいただき、附属大塚特別支援学校の倉庫(旧スクールバス車庫)を改修し、カフェスペースにリノベーションしました。



【1/29 改修前のガレージ】



【4/9 改修後のガレージ】

【「ガレージカフェ・プロジェクト」の意義】

知的障害のある子どもたちは、日常生活で人から指示をされること、支援されることなど、様々な事柄に対して受け身であることが多く見られます。えがおカフェの活動は、知的障害のある子どもたちが「人の役に立つ」、「人に喜んでもらう」経験を積むことができる場となっています。達成感や充実感を味わうことで、自信をもち、自己選択・自己決定できるようになること、自分の意思を表明できるようになることを目標に取り組んでいます。

「ガレージカフェ・プロジェクト」の第一の目的は、本校の敷地内にある古い倉庫を、高等部の職業、中学部の職業・家庭、小学部の生活科などの学習で利用できるスペースへと変身させることです。

ガレージカフェ完成後には、この施設を活用して、これまで積み重ねてきた「えがおカフェ」などの教育活動をこれまで以上に充実し、展開する予定です。

また第二第三の目的として、ガレージカフェ施設で展開する営みを通じ、従前の教育活動のみならず、インクルーシブ社会を目指した地域への働きかけや、新しい学校の機能の実現に向けた取組を実践していくことなどを掲げています。

【今後の予定】

グランドオープンの際には改めてお知らせします。



【本件に関する問い合わせ先】

- ◆ プロジェクトに関すること
筑波大学附属大塚特別支援学校
TEL: 03-3813-5569
- ◆ 取材・報道に関すること
筑波大学広報局報道担当
TEL: 029-853-2040

E-mail: kohositu@un.tsukuba.ac.jp